

注3

大学番号：私159

[平成25年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

届出

駒沢女子大学 人文学部 心理学科

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 駒澤学園  
平成25年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局(課)名 大学短大事務部教務課

職名・氏名 カチヨウ ヤ シリ カズ ノリ  
課長 矢 尻 和 範

電話番号 042-350-7111

(夜間) 042-331-1911

F A X 042-350-7112

e-mail daigaku@komajo.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

( )書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成25年3月15日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目 次

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	5
3	施設・設備の整備状況, 経費	10
4	既設大学等の状況	11
5	教員組織の状況	12
6	留意事項に対する履行状況等	21
7	その他全般的事項	22
8	添付資料 (駒沢女子大学点検・評価・改善委員会規程)	25

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 駒澤学園

## (2) 大学名

駒沢女子大学

## (3) 大学の位置

〒206-8511  
東京都稲城市坂浜238番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(カツラギ テンカイ) 葛城天快 (平成22年6月)		
学長	(ミツ ダ マサ ヨシ) 光田督良 (平成23年4月)		
学部長	(ハトリ オサム) 羽鳥修 (平成24年4月)		
学科長等	(ストウ アキラ) 須藤明 (平成25年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成23年度に報告済の内容 → (23)

平成25年度に報告する内容 → (25)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は, 平成22年度開設の4年制の学科の場合(平成25年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
人文学部 心理学科 学士(心理学)	4年	90人	— 年次人	360人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	90 (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	1.16倍	
志願者数	291 (—) [2]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]		
受験者数	286 (—) [2]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]		
合格者数	203 (—) [2]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]		
B 入学者数	105 (—) [2]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]		
入学定員超過率 B/A	1.16		—		—		—			

- (注) ・ 数字は, 平成25年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( ) 内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。  
 ・ [ ] 内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ 2 ] 105	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	
2年次	/		[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	
3年次			/		[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -
4年次	/				[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -
計			[ 2 ] 105	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]

- (注) ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成25年度 入学者	105 人	0 人	平成25年度	人	人		0 %
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
平成26年度 入学者	— 人	— 人	平成26年度	人	人		— %
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
平成27年度 入学者	— 人	— 人	平成27年度	人	人		— %
			平成28年度	人	人		
平成28年度 入学者	— 人	— 人	平成28年度	人	人		— %
合 計	105 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成25年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 授業科目の概要

<人文学部 心理学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通教育科目	<建学の精神実践科目>												
	仏教学Ⅰ	1前	2								兼	6	
	仏教学Ⅱ	1後	2								兼	6	
	仏教学Ⅲ	2前		2							兼	2	
	仏教学Ⅳ	2後		2							兼	2	
	駒沢女子大学入門	1・2前		2							兼	2	
	<教養力育成科目>												
	【人間を学ぶ】												
	人間と思想Ⅰ	1・2前		2							兼	4	2 クラス数増加のため増員 (25)
	人間と思想Ⅱ	1・2後		2							兼	4	2 クラス数増加のため増員 (25)
	人間と文化	1・2前		2							兼	1	
	生命の科学	1・2後		2							兼	1	
	倫理学	1・2後		2							兼	1	
	心理学Ⅰ	1・2前		2							兼	2	
	心理学Ⅱ	1・2後		2							兼	2	
	【文化と歴史を学ぶ】												
	日本の歴史	1・2前		2							兼	1	
	世界の歴史	1・2後		2							兼	1	
	日本の文学	1・2後		2							兼	1	
	ヨーロッパの文学	1・2後		2		1							
	日本美術史	1・2前		2							兼	1	
	西洋文化史	1・2前		2							兼	1	
	考古学	1・2後		2							兼	1	
	【社会の仕組みを学ぶ】												
	世界の政治	1・2前		2							兼	1	
	世界の経済	1・2後		2							兼	1	
	新聞と報道	1・2後		2							兼	1	
	法学	1・2前		2							兼	1	
	社会学Ⅰ	1・2前		2							兼	2	
	社会学Ⅱ	1・2後		2							兼	2	
	【科学の世界を学ぶ】												
	数学の世界	1・2前		2							兼	1	
	物理の世界	1・2後		2							兼	1	
	生物と生命	1・2前		2							兼	1	
	地球と宇宙	1・2後		2							兼	1	
	物質と化学	1・2後		2							兼	1	
	情報と科学	1・2前		2							兼	1	
	【教養特設科目】												
	教養知AⅠ	2後		2		1					兼	3	
	教養知AⅡ	3前		2		1					兼	3	
	教養知BⅠ	2後		2							兼	3	
	教養知BⅡ	3前		2							兼	3	
小計 (35科目)		—	4	66	0	2	0	0	0	0	兼	35	
外国語科目	<第1外国語科目>												
	英語AⅠ	1前	1								兼	14	
	英語AⅡ	1後	1								兼	14	
	英語AⅢ	2前	1								兼	14	
	英語AⅣ	2後	1								兼	14	
	英語BⅠ	1前	1			1					兼	13	
	英語BⅡ	1後	1			1					兼	13	
	英語BⅢ	2前	1			1					兼	13	
	英語BⅣ	2後	1			1					兼	13	
	<第2外国語科目>												
	基礎フランス語Ⅰ	1・2前		1			1				兼	4	2 クラス数増加のため増員 (25)
	基礎フランス語Ⅱ	1・2後		1			1				兼	4	2 クラス数増加のため増員 (25)
	基礎ドイツ語Ⅰ	1・2前		1			1				兼	1	2 クラス数増加のため増員 (25)
	基礎ドイツ語Ⅱ	1・2後		1			1				兼	1	2 クラス数増加のため増員 (25)
	基礎スペイン語Ⅰ	1・2前		1							兼	1	
	基礎スペイン語Ⅱ	1・2後		1							兼	1	
基礎中国語Ⅰ	1・2前		1			1							
基礎中国語Ⅱ	1・2後		1			1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通教育科目	フランス語ⅠA	1前		1			1				兼	2	
	フランス語ⅠA	1後		1			1				兼	2	
	フランス語ⅢA	2前		1			1				兼	2	
	フランス語ⅣA	2後		1			1				兼	2	
	フランス語ⅠB	1前		1			1				兼	2	
	フランス語ⅠB	1後		1			1				兼	2	
	フランス語ⅢB	2前		1			1				兼	2	
	フランス語ⅣB	2後		1			1				兼	2	
	ドイツ語ⅠA	1前		1							兼	2	
	ドイツ語ⅠA	1後		1							兼	2	
	ドイツ語ⅢA	2前		1							兼	2	
	ドイツ語ⅣA	2後		1							兼	2	
	ドイツ語ⅠB	1前		1							兼	2	
	ドイツ語ⅠB	1後		1							兼	2	
	ドイツ語ⅢB	2前		1							兼	2	
	ドイツ語ⅣB	2後		1							兼	2	
	スペイン語ⅠA	1前		1							兼	2	
	スペイン語ⅠA	1後		1							兼	2	
	スペイン語ⅢA	2前		1							兼	2	
	スペイン語ⅣA	2後		1							兼	2	
	スペイン語ⅠB	1前		1							兼	2	
	スペイン語ⅠB	1後		1							兼	2	
	スペイン語ⅢB	2前		1							兼	2	
	スペイン語ⅣB	2後		1							兼	2	
	中国語ⅠA	1前		1			1				兼	1	
	中国語ⅠA	1後		1			1				兼	1	
	中国語ⅢA	2前		1			1				兼	1	
	中国語ⅣA	2後		1			1				兼	1	
	中国語ⅠB	1前		1							兼	2	
	中国語ⅠB	1後		1							兼	2	
	中国語ⅢB	2前		1							兼	2	
	中国語ⅣB	2後		1							兼	2	
	小計(48科目)		—	8	40	0	3	1	0	0	0	兼	29
	情報科目	コンピュータ演習Ⅰ	1前	1								兼	8
		コンピュータ演習Ⅱ	1・2後		1							兼	3
		コンピュータ演習Ⅲ	1・2前		1							兼	3
		コンピュータ演習Ⅳ	1・2後		1							兼	3
		小計(4科目)		—	1	3	0	0	0	0	0	0	兼
	就業力育成科目	<言語力育成科目>											
		言語表現演習Ⅰ	1前	1								兼	15
		言語表現演習Ⅱ	1後	1								兼	15
		<キャリア力育成科目>											
		進路設計	1後	2								兼	2・3
		社会と教養演習A	2前		1							兼	1
		社会と教養演習B	2前		1							兼	1
		社会と教養演習C	2後		1							兼	1
	社会と教養演習D	2後		1							兼	1	
	キャリアアテラシー	3前		2							兼	1	
小計(8科目)		—	4	6	0	0	0	0	0	0	兼	15	
体育科目	スポーツⅠ	1・2前		1							兼	4	
	スポーツⅡ	1・2後		1							兼	4	
	小計(2科目)		—	0	2	0	0	0	0	0	0	兼	4
特設科目	<留学生・帰国生徒対象科目>												
	日本語ⅠA	1前	1								兼	1	
	日本語ⅠB	1前	1								兼	1	
	日本語ⅡA	1後	1								兼	1	
	日本語ⅡB	1後	1								兼	1	
	日本語ⅢA	2前	1								兼	1	
	日本語ⅢB	2前	1								兼	1	
	日本語ⅣA	2後	1								兼	1	
	日本語ⅣB	2後	1								兼	1	
	日本事情Ⅰ	1前	2								兼	1	
	日本事情Ⅱ	1後	2								兼	1	
	日本事情Ⅲ	2前	2								兼	1	
	日本事情Ⅳ	2後	2								兼	1	
小計(12科目)		—	16	0	0	0	0	0	0	0	兼	3	
共通教育科目 小計(109科目)		—	33	117	0	3	1	0	0	0	兼	92	

留学生・帰国生徒以外は履修することができない  
12科目16単位必修(留学生・帰国生徒のみ)

2・3 クラス数増加のため増員(25)

科目区分	授業科目の名称	配当年	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通専門科目	基礎ゼミⅠ	1前	1			4	3	1				
	基礎ゼミⅡ	1後	1			4	3	1				
	基礎ゼミⅢ	2前	1			4	3	1				
	心理学の基礎Ⅰ	1前	2					1				
	心理学の基礎Ⅱ	1後	2			1						
	心理学実験実習Ⅰ	2前	2			1					兼 2	2コマ連続
	心理学実験実習Ⅱ	2後	2					1			兼 2	2コマ連続
	心理学研究法Ⅰ	3前	2			1						
	心理学研究法Ⅱ	3後	2			1						
	心理統計法Ⅰ	1・2前		2							兼 1	
	心理統計法Ⅱ	1・2後		2							兼 1	
	文芸と心理	2・3・4後		2		1						オムニバス
	言葉と心理	2・3・4後		2		1	1					
	心理学英語講読	3前		2							兼 1	
	学外実習	3後		1		2		2				集中
小計 (15科目)	—		15	11	0	5	3	2	0	0	兼 4	
専門教育科目 現代心理学コース専門科目	社会心理学Ⅰ	2前	2								兼 1	
	社会心理学Ⅱ	2後	2								兼 1	
	発達心理学Ⅰ	2前	2					1				
	発達心理学Ⅱ	2後	2					1				
	犯罪心理学Ⅰ	2・3前		2		1						
	犯罪心理学Ⅱ	2・3後		2		1						
	認知心理学	2・3前		2							兼 1	
	家族心理学	2・3後		2		1						
	教育心理学	2・3・4前		2		1						
	健康心理学	2・3・4後		2							兼 1	
	コミュニティ心理学	2・3・4後		2			1					
	スポーツ心理学	2・3・4後		2							兼 1	
	産業心理学	2・3・4前		2					1			
	消費者心理学	2・3・4後		2							兼 1	
	社会福祉援助論	2・3・4後		2							兼 1	
	高齢者心理学	2・3・4後		2							兼 1	
	対人援助論Ⅰ	3・4前		2							兼 1	
	対人援助論Ⅱ	3・4後		2							兼 1	
	現代心理学実習	3前	2			1		1				2コマ連続
	現代心理学ゼミAⅠ	3前		1		1						
	現代心理学ゼミAⅡ	3後		1		1						
	現代心理学ゼミAⅢ	4前		1		1						
	現代心理学ゼミAⅣ	4後		1		1						
	現代心理学ゼミBⅠ	3前		1		1						
	現代心理学ゼミBⅡ	3後		1		1						
	現代心理学ゼミBⅢ	4前		1		1						
	現代心理学ゼミBⅣ	4後		1		1						
	現代心理学ゼミCⅠ	3前		1				1				
	現代心理学ゼミCⅡ	3後		1				1				
	現代心理学ゼミCⅢ	4前		1				1				
	現代心理学ゼミCⅣ	4後		1				1				
	現代心理学ゼミDⅠ	3前		1				1				
	現代心理学ゼミDⅡ	3後		1				1				
	現代心理学ゼミDⅢ	4前		1				1				
	現代心理学ゼミDⅣ	4後		1				1				
	卒業論文	4通		4		2		2				
小計 (36科目)	—		10	48	0	3	1	2	0	0	兼 8	
専門教育科目 臨床心理学コース専門科目	臨床心理学Ⅰ	2前	2					1				
	臨床心理学Ⅱ	2後	2			1						
	人格心理学Ⅰ	2前	2						1			
	人格心理学Ⅱ	2後	2						1			
	心理検査法Ⅰ	3・4前		2							兼 1	
	心理検査法Ⅱ	3・4後		2							兼 1	
	精神医学	2・3・4前		2							兼 1	
	学校心理学	2・3・4前		2							兼 1	
	医療心理学	2・3・4後		2							兼 1	
	カウンセリング論	2・3・4後		2		1						
	障害者援助論	2・3・4前		2							兼 1	
	精神病学	2・3・4前		2				1				
	神経心理学	2・3・4後		2							兼 1	
	言語心理学	2・3・4後		2							兼 1	
	比較行動学	2・3・4後		2							兼 1	
	発達臨床	2・3・4後		2							兼 1	
	心理療法論Ⅰ	3・4前		2				1				
心理療法論Ⅱ	3・4後		2				1					
臨床心理学実習	3前	2								兼 1	2コマ連続	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	臨床心理学ゼミAⅠ	3前		1		1						臨床心理学ゼミA～Dは、同一のゼミを4科目(Ⅰ～Ⅳ)4単位選択必修
	臨床心理学ゼミAⅡ	3後		1		1						
	臨床心理学ゼミAⅢ	4前		1		1						
	臨床心理学ゼミAⅣ	4後		1		1						
	臨床心理学ゼミBⅠ	3前		1			1					
	臨床心理学ゼミBⅡ	3後		1			1					
	臨床心理学ゼミBⅢ	4前		1			1					
	臨床心理学ゼミBⅣ	4後		1			1					
	臨床心理学ゼミCⅠ	3前		1			1					
	臨床心理学ゼミCⅡ	3後		1			1					
	臨床心理学ゼミCⅢ	4前		1			1					
	臨床心理学ゼミCⅣ	4後		1			1					
	臨床心理学ゼミDⅠ	3前		1			1					
	臨床心理学ゼミDⅡ	3後		1			1					
	臨床心理学ゼミDⅢ	4前		1			1					
	臨床心理学ゼミDⅣ	4後		1			1					
	卒業論文	4通		4		1	3					
小計(36科目)	—		10	48	0	1	3	1	0	0	兼 10	
専門教育科目 小計 (87科目)	—		35	107	0	6	4	2	0	0	兼 20	
省令必修科目	生涯学習論Ⅰ	1前		2							兼 1	
	博物館概論	1・2前			2						兼 1	
	博物館経営論	1・2前			2						兼 1	
	博物館資料論	3前			2						兼 1	
	博物館資料保存論	1・2後			2						兼 1	
	博物館展示論	2後			2						兼 1	
	博物館教育論	1・2前			2						兼 1	
	博物館情報・メディア論	1・2後			2						兼 1	
	博物館実習A	3後			1						兼 2	
	博物館実習B	4前			1						兼 2	
	博物館実習C	4通			2						兼 1	
	小計(11科目)	—	0	2	18	0	0	0	0	0	兼 5	
基礎選択必修科目	世界のミュージアム	2・3前		2		1					兼 3	オムニバス
	日本のミュージアム	2・3後		2							兼 1	
	西洋文化史	1・2後		2							兼 1	
	西洋美術の旅Ⅰ	2・3前		2							兼 1	
	西洋美術の旅Ⅱ	2・3後		2							兼 1	
	日本美術史入門	1後		2							兼 1	
	日本美術史	1・2前		2							兼 1	
	考古学	1・2後		2							兼 1	
	小計(8科目)	—	0	16	0	1	0	0	0	0	兼 5	
	専攻選択必修科目	異文化との出会いF(イタリア)	2・3・4後		2							
映像人類学		2・3・4前		2							兼 1	
考古学Ⅰ		2・3・4前		2							兼 1	
考古学Ⅱ		2・3・4前		2							兼 1	
日本美術史Ⅰ		2・3・4前		2							兼 1	
日本美術史Ⅱ		2・3・4後		2							兼 1	
文化交流史Ⅰ		2・3・4前		2							兼 1	
文化交流史Ⅱ		2・3・4後		2							兼 1	
民俗学Ⅰ		2・3・4前		2							兼 1	
民俗学Ⅱ		2・3・4後		2							兼 1	
小計(10科目)	—	0	20	0	0	1	0	0	0	兼 5		
博物館学芸員科目 小計 (29科目)	—	0	38	18	1	0	0	0	0	兼 10		

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任, 兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で, 前年度報告時(平成24年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し, 「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお, 昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については, 見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任, 兼担の教員が担当する授業科目については, 備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で, 専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては, 「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には, 「平成○年○月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について, 設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても, 設置認可時の状況を黒字で記入してください。また, 前年度報告時より修正があれば, 赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
45	151	0	196	45	151	0	196	
				[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	

- (注) ・ 未開講である場合や, 配当年次に関わらず, 教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など, 別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに, [ ] 内に, 届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校舎敷地	0 m <sup>2</sup>	113,392 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	113,392 m <sup>2</sup>				
	運動場用地	0 m <sup>2</sup>	28,403 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	28,403 m <sup>2</sup>				
	小 計	0 m <sup>2</sup>	141,795 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	141,795 m <sup>2</sup>				
	そ の 他	0 m <sup>2</sup>	66,331 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	66,331 m <sup>2</sup>				
	合 計	0 m <sup>2</sup>	208,126 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	208,126 m <sup>2</sup>				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校舎の一部は駒沢女子 短期大学と共用			
		1,372 m <sup>2</sup> ( 1,372 m <sup>2</sup> )	30,087 m <sup>2</sup> ( 30,087 m <sup>2</sup> )	9,969 m <sup>2</sup> ( 9,969 m <sup>2</sup> )	41,428 m <sup>2</sup> ( 41,428 m <sup>2</sup> )				
(3) 教 室 等		講 義 室 38 室	演 習 室 25 室	実験実習室 50 室	情報処理学習施設 6 室 (補助職員 2人)	語学学習施設 1 室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称 人文学部 心理学科			室 数 12 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点		
	心理学科	102〔24〕 ( 3〔0〕)	29〔9〕 ( 29〔9〕)	1〔0〕 ( 1〔0〕)	44 ( 0 )	42 ( 0 )	0 ( 0 )		
	計	102〔24〕 ( 3〔0〕)	29〔9〕 ( 29〔9〕)	1〔0〕 ( 1〔0〕)	44 ( 0 )	42 ( 0 )	0 ( 0 )		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	4,889 m <sup>2</sup>		325 席		293,140 冊				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要						
	1,726 m <sup>2</sup>		テニスコート 3面						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	設備購入年度変更(25)
		教員1人当り研究費等	360千円	360千円	図書購入費	1,500千円	1,500千円	1,000千円	
	共同研究費等	— 千円	— 千円	設備購入費	0千円 2,000千円	4,000千円 2,000千円	1,000千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	1,316千円	1,016千円	1,016千円	1,016千円	千円	千円			
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用、雑収入等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成25年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(25)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	駒沢女子大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文科学研究科								東京都稲城市 坂浜238番地	
仏教文化専攻	2	5		10	修士(文学)	0.30	H14		
臨床心理学専攻	2	20		40	修士(心理学)	0.75	H15		
人部学部									
日本文化学科	4	60	10	260	学士(日本文化)	1.16	H5		
国際文化学科	4	120	20	520	修士(国際文化)	0.91	H5		
人間関係学科	4	60		510	修士(人間関係)	0.87	H12		
心理学科	4	90		90	修士(心理学)	1.16	H25		
空間造形学科	4	60		240	修士(空間造形)	0.66	H14		
映像コミュニケーション学科	4	60		240	修士(映像コミュニケーション)	0.59	H14		
人間健康学部									
健康栄養学科	4	80		320	修士(健康栄養)	1.03	H21		
大学の名称	駒沢女子短期大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
保育科	2	130		260	短期大学士(保育)	1.05	S40	東京都稲城市 坂浜238番地	

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)について、それぞれの学校種ごとに、平成25年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。その際、AC対象学部学科等についても当該様式に記入してください。(ただし、専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)
- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。
  - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

## 5 教員組織の状況

<人文学部 心理学科>

### (1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授 (学科主任)	須藤 明 (54)	平成25年4月	基礎ゼミⅢ 心理学の基礎Ⅱ 学外実習 犯罪心理学Ⅰ 犯罪心理学Ⅱ 家族心理学 現代心理学ゼミAⅠ 現代心理学ゼミAⅡ 現代心理学ゼミAⅢ 現代心理学ゼミAⅣ 卒業論文						
専	教授	相羽 直實 (64)	平成25年4月	英語BⅠ 英語BⅡ 英語BⅢ 英語BⅣ 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 基礎ゼミⅢ	専	教授	鈴木 賢司 (60)	平成25年4月	英語BⅠ 英語BⅡ 英語BⅢ 英語BⅣ 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 基礎ゼミⅢ	平成25年3月 相羽直實教授辞任のため 平成25年度より担当者の 変更(25)
専	教授	蘭 香代子 (63)	平成25年4月	教育心理学 臨床心理学Ⅱ カウンセリング論 臨床心理学ゼミAⅠ 臨床心理学ゼミAⅡ 臨床心理学ゼミAⅢ 臨床心理学ゼミAⅣ 卒業論文						
専	教授	糟谷 恵次 (59)	平成25年4月	ヨーロッパの文学 基礎ドイツ語Ⅰ 基礎ドイツ語Ⅱ 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 基礎ゼミⅢ 文芸と心理 世界のミュージアム						
専	教授	富士原 光洋 (53)	平成25年4月	基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 心理学実験実習Ⅰ 心理学研究法Ⅰ 心理学研究法Ⅱ 学外実習 現代心理学実習 現代心理学ゼミBⅠ 現代心理学ゼミBⅡ 現代心理学ゼミBⅢ 現代心理学ゼミBⅣ 卒業論文						
専	教授	保坂 律子 (53)	平成25年4月	教養知AⅠ 教養知AⅡ 基礎中国語Ⅰ 基礎中国語Ⅱ 中国語ⅠA 中国語ⅡA 中国語ⅢA 中国語ⅣA 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 基礎ゼミⅢ 言葉と心理						

専	准教授	米金 孝雄 (50)	平成25年4月	基礎フランス語Ⅰ 基礎フランス語Ⅱ フランス語ⅠA フランス語ⅡA フランス語ⅢA フランス語ⅣA フランス語ⅠB フランス語ⅡB フランス語ⅢB フランス語ⅣB 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 基礎ゼミⅢ 言葉と心理						
専	准教授	藤城 有美子 (45)	平成25年4月	臨床心理学Ⅰ 心理療法論Ⅱ 臨床心理学ゼミBⅠ 臨床心理学ゼミBⅡ 臨床心理学ゼミBⅢ 臨床心理学ゼミBⅣ 卒業論文						
専	准教授	松岡 努 (44)	平成25年4月	基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 基礎ゼミⅢ 精神病跡学 臨床心理学ゼミCⅠ 臨床心理学ゼミCⅡ 臨床心理学ゼミCⅢ 臨床心理学ゼミCⅣ 卒業論文						
専	准教授	藤川 麗 (40)	平成25年4月	基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 基礎ゼミⅢ コミュニティ心理学 心理療法論Ⅰ 臨床心理学ゼミDⅠ 臨床心理学ゼミDⅡ 臨床心理学ゼミDⅢ 臨床心理学ゼミDⅣ 卒業論文						
専	講師	丸山 慎 (40)	平成25年4月	基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 基礎ゼミⅢ 心理学の基礎Ⅰ 心理学実験実習Ⅱ 学外実習 発達心理学Ⅰ 発達心理学Ⅱ 現代心理学実習 現代心理学ゼミDⅠ 現代心理学ゼミDⅡ 現代心理学ゼミDⅢ 現代心理学ゼミDⅣ 卒業論文						
専	講師	石津 和子 (36)	平成25年4月	学外実習 産業心理学 人格心理学Ⅰ 人格心理学Ⅱ 現代心理学ゼミCⅠ 現代心理学ゼミCⅡ 現代心理学ゼミCⅢ 現代心理学ゼミCⅣ 卒業論文						
兼担	教授 (学長)	光田 督良 (61)	平成26年9月	教養知AⅠ 教養知AⅡ						
兼担	教授 (学部長)	羽鳥 修 (58)	平成25年9月	世界の歴史 世界のミュージアム	兼任	講師	高草木 邦人	平成25年9月	世界の歴史	平成25年3月 学校事情により担当者変更(25)
兼担	教授	戸田 洋樹 (70)	平成25年9月	倫理学						

兼担	教授	亘 純吉 (66)	平成26年4月	教養知BⅠ 教養知BⅡ 映像人類学 民俗学Ⅰ 民俗学Ⅱ						
兼担	教授	藤田 啓子 (66)	平成25年4月	西洋文化史 博物館実習A 博物館実習B 世界のミュージアム 日本のミュージアム 西洋美術の旅Ⅰ 西洋美術の旅Ⅱ 異文化との出会いF (イタリア)						
兼担	教授	芝山 正治 (63)	平成25年4月	スポーツⅠ スポーツⅡ						
兼担	教授	小川 誠 (58)	平成25年9月	考古学 博物館実習A 博物館実習B 考古学Ⅰ 考古学Ⅱ						
兼担	教授	安藤 嘉則 (55)	平成25年4月	仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ 仏教学Ⅳ 駒沢女子大学入門 教養知AⅠ 教養知AⅡ						
兼担	教授	加藤 ナツ子 (61)	平成25年4月	スペイン語ⅠA スペイン語ⅡA スペイン語ⅢA スペイン語ⅣA スペイン語ⅠB スペイン語ⅡB スペイン語ⅢB スペイン語ⅣB 世界のミュージアム						
兼担	教授	鈴木 眞 (61)	平成25年4月	基礎フランス語Ⅰ 基礎フランス語Ⅱ フランス語ⅠA フランス語ⅡA フランス語ⅢA フランス語ⅣA フランス語ⅠB フランス語ⅡB フランス語ⅢB フランス語ⅣB						
兼担	教授	臼井 実穂子 (57)	平成26年9月	教養知BⅠ 教養知BⅡ						
兼担	教授	佐々木 俊道 (53)	平成25年4月	仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ 仏教学Ⅲ						
兼担	教授	篠 政行 (59)	平成25年4月	情報と科学 コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅲ コンピュータ演習Ⅳ						
兼担	教授	末木 俊之 (54)	平成25年4月	コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ コンピュータ演習Ⅲ コンピュータ演習Ⅳ						
兼担	教授	弥久保 宏 (52)	平成25年4月	世界の政治						
兼担	教授	福王 守 (47)	平成25年4月	法学						
兼担	教授	千葉 公慈 (48)	平成25年4月	仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ 仏教学Ⅳ						
兼担	准教授	Anne W. Young (61)	平成25年4月	英語AⅠ 英語AⅡ 英語AⅢ 英語AⅣ						

兼担	准教授	池田 節子 (58)	平成25年4月	日本の文学 言語表現演習Ⅰ 言語表現演習Ⅱ						
兼担	准教授	磯谷 慶子 (58)	平成26年9月	教養知AⅠ 教養知AⅡ						
兼担	准教授	明田川 紀彦 (43)	平成25年4月	コンピュータ演習Ⅰ						
兼担	准教授	榎本 環 (50)	平成26年9月	教養知BⅠ 教養知BⅡ						
兼担	准教授	皆川 義孝 (45)	平成25年4月	仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ 仏教学Ⅲ						
兼担	講師	橘田 布佐子 (55)	平成25年4月	英語AⅠ 英語AⅡ 英語AⅢ 英語AⅣ						
兼担	講師	岡本 啓宏 (54)	平成25年4月	コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ						
兼担	講師	下川 雅弘 (38)	平成25年4月	日本の歴史						
兼担	講師	松山 響子 (35)	平成25年4月	英語AⅠ 英語AⅡ 英語AⅢ 英語AⅣ 英語BⅠ 英語BⅡ 英語BⅢ 英語BⅣ						
兼担	講師	茂木 弥生子 (38)	平成25年4月	コンピュータ演習Ⅰ						
兼担	講師	大貫 恵佳 (34)	平成25年4月	社会学Ⅰ 社会学Ⅱ						
兼担	講師	石川 創 (31)	平成25年4月	言語表現演習Ⅰ 言語表現演習Ⅱ						
兼任	講師	可児 和子 (65)	平成26年4月	社会福祉援助論 障害者援助論						
兼任	講師	羽田 積男 (65)	平成25年4月	生涯学習論Ⅰ						
兼任	講師	荻野 孝野 (64)	平成25年4月	日本語RⅠB 日本語RⅡB 日本語RⅢB 日本語RⅣB						
兼任	講師	阪本 史代 (64)	平成26年4月	日本事情Ⅲ 日本事情Ⅳ						
兼任	講師	前澤 博一 (64)	平成25年9月	世界の経済						
兼任	講師	井出 洋一郎 (63)	平成25年4月	博物館経営論 博物館資料保存論 博物館教育論 博物館情報・メディア論						
兼任	講師	岩崎 和子 (63)	平成25年4月	日本美術史 日本美術史入門 日本美術史Ⅰ 日本美術史Ⅱ						
兼任	講師	藤村 敬二 (61)	平成26年4月	精神医学						

兼任	講師	徳島 陽子 (60)	平成25年4月	日本語R I A	兼任	講師	阪本 史代 (63)	平成25年4月	日本語R I A	}	平成25年3月 徳島陽子講師辞任のため 平成25年度より担当者の 変更 (25)
				日本語R II A					日本語R III A		
兼任	講師	中野 良教 (59)	平成25年4月	仏教学 I 仏教学 II							
兼任	講師	木庭 真美子 (58)	平成25年4月	英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV							
兼任	講師	木下 令子 (57)	平成25年4月	基礎スペイン語 I 基礎スペイン語 II スペイン語 I A スペイン語 II A スペイン語 III A スペイン語 IV A スペイン語 I B スペイン語 II B スペイン語 III B スペイン語 IV B							
兼任	講師	宮脇 裕子 (57)	平成25年4月	英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV							
兼任	講師	山口 和美 (57)	平成25年4月	博物館概論 博物館資料論 博物館展示論 博物館実習C							
兼任	講師	Suwat Charoennibhonva nich (56)	平成25年4月	コンピュータ演習 I コンピュータ演習 III コンピュータ演習 IV							
兼任	講師	多田 知恵 (56)	平成25年4月	英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV							
兼任	講師	川上 真巳子 (54)	平成25年4月	英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV							
兼任	講師	余 瀾 (52)	平成25年4月	中国語 I A 中国語 II A 中国語 III A 中国語 IV A 中国語 I B 中国語 II B 中国語 III B 中国語 IV B							
兼任	講師	河合 忍 (50)	平成25年4月	生命の科学 生物と生命							

兼任	講師	小田島 則子 (50)	平成25年4月	英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV						
兼任	講師	鎌田 浩二 (50)	平成25年4月	英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV	兼任	講師	大石 瑶子 (28)	平成25年4月	英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV	平成25年3月 鎌田浩二講師辞任のため 平成25年度より担当者の 変更 (25)
兼任	講師	杉原 光雄 (50)	平成25年4月	コンピュータ演習 I 心理学実験実習 I 心理学実験実習 II 心理統計法 I 心理統計法 II 認知心理学 言語心理学						
兼任	講師	浅田 裕子 (49)	平成25年4月	英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV						
兼任	講師	王 聰 (49)	平成25年4月	中国語 I B 中国語 II B 中国語 III B 中国語 IV B	兼任	講師	西端 彩 (31)	平成25年4月	中国語 I B 中国語 II B 中国語 III B 中国語 IV B	平成25年3月 王聰講師辞任のため 平成25年度より担当者の 変更 (25)
兼任	講師	佐々木 竜介 (49)	平成25年9月	新聞と報道						
兼任	講師	鈴木 由加里 (48)	平成25年4月	人間と思想 I 人間と思想 II						
兼任	講師	田中 規子 (48)	平成25年4月	心理学 I 心理学 II 心理学実験実習 I 心理学実験実習 II						
兼任	講師	鈴木 一馨 (47)	平成26年4月	文化交流史 I 文化交流史 II						
兼任	講師	三辻 浩子 (47)	平成25年4月	スポーツ I スポーツ II						
兼任	講師	江連 成美 (46)	平成25年4月	英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV						
兼任	講師	竹田 葉留美 (46)	平成26年4月	心理学英語講読 学校心理学						
兼任	講師	森鷲 由紀子 (46)	平成27年4月	対人援助論 I 対人援助論 II						
兼任	講師	小早川 浩大 (45)	平成25年4月	仏教学 I 仏教学 II						
兼任	講師	佐々木 千恵 (45)	平成25年4月	英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV						
兼任	講師	古澤 有可 (45)	平成25年9月	進路設計 社会と教養演習A 社会と教養演習B 社会と教養演習C キャリアリテラシー						
兼任	講師	田所 承己 (44)	平成25年4月	社会学 I 社会学 II	兼任	講師	森鷲 由紀子 (44)	平成25年4月	社会学 I 社会学 II	平成25年3月 田所承己講師辞任のため 平成25年度より担当者の 変更 (25)

兼任	講師	池上 俊彦 (43)	平成25年4月	英語BⅠ 英語BⅡ 英語BⅢ 英語BⅣ						
兼任	講師	岸 太一 (43)	平成26年9月	健康心理学						
兼任	講師	Callens D. Marc (42)	平成25年4月	フランス語ⅠA フランス語ⅡA フランス語ⅢA フランス語ⅣA フランス語ⅠB フランス語ⅡB フランス語ⅢB フランス語ⅣB	兼任	講師	久保田 静香 (41)	平成25年4月	フランス語ⅠA フランス語ⅡA フランス語ⅢA フランス語ⅣA フランス語ⅠB フランス語ⅡB フランス語ⅢB フランス語ⅣB	平成25年3月 Callens講師辞任のため 平成25年度より担当者の 変更 (25)
兼任	講師	玉木 宗久 (42)	平成26年9月	神経心理学						
兼任	講師	塩嶋 理恵 (41)	平成25年4月	スポーツⅠ スポーツⅡ						
兼任	講師	永房 典之 (41)	平成26年4月	社会心理学Ⅰ 社会心理学Ⅱ 消費者心理学 発達臨床						
兼任	講師	黒瀬 志保 (40)	平成25年4月	ドイツ語ⅠA ドイツ語ⅡA ドイツ語ⅢA ドイツ語ⅣA ドイツ語ⅠB ドイツ語ⅡB ドイツ語ⅢB ドイツ語ⅣB						
兼任	講師	堀江 桂香 (39)	平成27年4月	心理検査法Ⅱ						
兼任	講師	跡守 美音 (38)	平成25年4月	ドイツ語ⅠA ドイツ語ⅡA ドイツ語ⅢA ドイツ語ⅣA ドイツ語ⅠB ドイツ語ⅡB ドイツ語ⅢB ドイツ語ⅣB						
兼任	講師	小林 ゆきの (38)	平成25年4月	英語AⅠ 英語AⅡ 英語AⅢ 英語AⅣ						
兼任	講師	吉田 明代 (38)	平成25年4月	英語AⅠ 英語AⅡ 英語AⅢ 英語AⅣ						
兼任	講師	吉野 菜穂子 (38)	平成25年4月	心理学Ⅰ 心理学Ⅱ						
兼任	講師	牧野 冬生 (37)	平成25年4月	人間と文化 コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ						
兼任	講師	最上 裕司 (37)	平成25年9月	進路設計						
兼任	講師	相ヶ瀬 千草 (36)	平成25年4月	言語表現演習Ⅰ 言語表現演習Ⅱ 社会と教養演習D						
兼任	講師	小畑 瓦平 (36)	平成25年4月	数学の世界						
兼任	講師	伊藤 由紀 (34)	平成25年4月	英語AⅠ 英語AⅡ 英語AⅢ 英語AⅣ						

兼任	講師	秋草 俊一郎 (33)	平成25年4月	英語BⅠ 英語BⅡ 英語BⅢ 英語BⅣ	兼任	講師	山本 長紀 (26)	平成25年4月	英語BⅠ 英語BⅡ 英語BⅢ 英語BⅣ	平成25年3月 秋草俊一郎講師辞任のため 平成25年度より担当者の 変更 (25)
兼任	講師	樋山 恭助 (33)	平成25年9月	物理の世界 地球と宇宙 物質と化学	兼任	講師	佐藤 大介	平成25年9月	物理の世界	平成25年3月 樋山恭助講師辞任のため 平成25年度より担当者 変更 (25)
					兼任	講師	月崎 竜童	平成25年9月	地球と宇宙	
					兼任	講師	佐藤 大介	平成25年9月	物質と化学	
兼任	講師	石原 房子 (32)	平成26年9月	高齢者心理学						
兼任	講師	薬師 英子 (32)	平成25年4月	英語AⅠ 英語AⅡ 英語AⅢ 英語AⅣ 英語BⅠ 英語BⅡ 英語BⅢ 英語BⅣ						
兼任	講師	刺田 昌信 (31)	平成25年4月	英語BⅠ 英語BⅡ 英語BⅢ 英語BⅣ						
兼任	講師	満石 寿 (30)	平成26年9月	スポーツ心理学						
兼任	講師	小泉 勇人 (29)	平成25年4月	英語BⅠ 英語BⅡ 英語BⅢ 英語BⅣ	兼任	講師	本村 万喜子	平成25年4月	英語BⅠ 英語BⅡ 英語BⅢ 英語BⅣ	平成25年3月 小泉勇人講師辞任のため平成 25年度から担当者 変更 (25)
兼任	講師	平野 真理 (29)	平成26年9月	心理検査法Ⅰ 医療心理学 臨床心理学実習						
兼任	講師	石島 このみ (27)	平成26年9月	比較行動学						
兼任	講師	宇佐美 かおる (51)	平成25年4月	スポーツⅠ スポーツⅡ	兼任	講師	丸山 麻子 (34)	平成25年4月	スポーツⅠ	平成25年3月 宇佐美かおる講師辞任のため 平成25年度から担当者 変更 (25)
					兼任	講師	塩嶋 理恵 (41)	平成25年9月	スポーツⅡ	

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。  
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。  
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。  
 ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成25年5月1日現在の満年齢を記入してください。  
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。  
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**  
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。

## (2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
6	4	2	0	12	6	4	2	0	12	平成16年度以前採用者70歳	0
(6)	(4)	(2)	(0)	(12)	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	平成17年度以降採用者65歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成25年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)  
 ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成25年5月1日現在、特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授	相羽 直實	一身上の都合により平成25年3月31日付、駒沢女子大学を退職したため
2			
3			

(注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

交代にあたっては、学内から前任者と同じ英語担当の教授を充当しており、また学生に対しては、学生便覧及び履修相談等により周知を図っている。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

「該当なし（届出申請）」

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。（認可で設置された学部学科等のみ。）
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

## 7 その他全般的事項

<人文学部 心理学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 施設・設備 心理学実習室4室	① 科目の配当年次が到来していないため、他の予算との調整を図り心理学実習室の設備等を1年繰り下げ、平成25年度に実施する。

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。  
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 駒沢女子大学点検・評価・改善委員会が設置されている。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 平成24年4月19日に開催され、全学13名の委員のうち13名が出席した。 平成24年5月31日に開催され、全学11名の委員のうち9名が出席した。 平成24年6月21日に開催され、全学11名の委員のうち9名が出席した。 平成24年11月15日に開催され、全学11名の委員のうち11名が出席した。 平成25年1月17日に開催され、全学11名の委員のうち11名が出席した。</p> <p>c 委員会の審議事項等 平成24年4月19日： 委員長、書記などの選出、平成23年度の活動報告、平成24年度の活動計画など 平成24年5月31日： 大学全体としての平成24年度前期公開授業・FD研修会の実施方法および内容の検討など 平成24年6月21日： 大学全体としての平成24年度前期FD研修会実施方法の詳細に関する検討など 平成24年11月15日： 大学全体としての平成24年度後期公開授業・FD研修会の実施方法の検討など 平成25年1月17日： 平成24年度後期FD研修会の実施方法と内容の詳細な検討など</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 (1) 学内公開授業（前期および後期） (2) 全学的FD研修会（前期および後期）</p> <p>b 実施方法 (1) 学内教員による授業の相互参観と意見交換 (2) 複数の教員による教育方法の工夫の発表と検討会</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む） (1) 前期平成24年6月18日～7月6日までの3週間、大学全体として71科目を公開した。 参観者人数は大学全体で延べ39名。 後期平成24年11月26日～12月21日までの4週間、大学全体としては60科目を公開した。 参観者人数は大学全体で延べ56名。 (2) 平成24年7月19日、専任教員66名が出席</p>
---

平成25年2月6日、専任教員61名が出席

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

全学的に実施している。前期は7月17日～7月23日、後期は1月8日～1月15日の授業時間内で、専任教員が担当する一科目以上を対象に実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

専任教員が担当する一科目以上の授業について、アンケート結果ならびに科目担当教員による自己評価報告書を、図書館で公開している。公開対象はすべての教員および学生であり、図書館での閲覧が可能である。

(注) ・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学科は、開設から約1か月を経た段階であるため、設置の趣旨や目的の達成状況を明確に示すことは困難であるが、現在までの進捗状況を以下に記す。

1. 本学科は、臨床心理学の分野のみならず、現代社会が抱える諸問題に取り組むことのできる問題解決力や、人間関係を円滑に保ち他者とつながる力を有する人材を育成する必要性から、人間関係学科の中にあった「心理と臨床コース」を分離独立させて新たに「心理学科」として開設するに至った。

2. この目的を達成するために、開設初年度では新入生に対するオリエンテーション及び専門教育科目「基礎ゼミ」を充実させる必要があると考え、定期的な学科会はもとより、基礎ゼミ担当教員複数による科目の進捗よくと内容面の点検を適宜行っている。また、もうひとつの専門教育科目「心理学の基礎」では、心理学の基礎的知識を付与するとともに、心理学が社会の様々な問題にどのように貢献しているのか、学生が具体的にイメージできるよう視覚教材や事例を用いるなどの工夫をしている。これら取り組みを基盤として、心理学の基礎的・応用的な専門性を深め、現代社会が抱える諸問題に取り組むことのできる問題解決力や人間関係を円滑に保ち他者とつながる力を有する人材の育成につなげていきたい。

3. 本学は、道元禅師の「正念」と「行学一如」の教えを建学の精神としている。本学科も、その精神に基づいた行動と知識の一体性、実践と理論の相即性の確立を目標としており、仏教学の講義や毎週月曜日昼休みに実施している「学燈会」によって、禅の精神を理解させるよう努めている。最終的には、この禅の精神と本学科の学びが学生の中でしっかりと結びついていくことが目標でもある。

4. 本学科に入学した学生は、心理学の学びという明確な目標を持っており、その期待に応えるべく、本学科の教員はカリキュラムの充実はもとより、学生との密な交流を図っている。基礎ゼミを単位とした担任制により、本学の特色のひとつ「面倒見のある教育」を実践しており、その中で、学生のより主体的な学習を引き出すようさまざまな工夫を行っているところである。その結果、将来大学院進学を目指す自主的な心理学の勉強会にも多くの学生が集まっている状況がみられる。この勉強会は、臨床心理学を専攻する大学院生が講師となって進めており、臨床心理学専攻の大学院を併設する本学の特色を生かした試みである。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表（予定）時期

認証評価機関による直近の自己点検・評価報告書は平成25年5月16日公表予定であり、またこれに伴う中間報告書を平成28年5月に公表予定であるが、対象学科（心理学科）に関する内容を含んだ認証評価機関への報告書については平成32年5月末を予定している。

##### b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

#### ③ 認証評価を受ける計画

・平成24年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受けており、次回は平成31年度に受ける予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

#### ○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 ( 有 ・  無 )

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） ( 平成25年8月31日 )

## 駒沢女子大学点検・評価・改善委員会規程

### (趣旨)

第1条 この規程は、学校教育法第69条の3及び大学設置基準第2条の規定に基づき、駒沢女子大学の自己点検・評価・改善を行うための、「駒沢女子大学点検・評価・改善委員会」（以下「委員会」という。）に関する事項について定める。

### (審議事項)

第2条 委員会は、次の各号に定める事項について、審議する。

- (1) 自己点検・評価報告書の作成と認証機関への提出
- (2) 自己点検・評価報告書に基づく改善計画の策定
- (3) その他、教育・研究活動に関して委員会が必要と認めた事項

### (担当)

第3条 前条の事項を円滑に処理するため、委員会に次の担当を置く。

- (1) 教育
- (2) 研究
- (3) 施設・設備
- (4) 管理・運営
- (5) 入学・就職
- (6) 総括

2 各担当の責任者は委員長が指名する。

### (構成)

第4条 委員会は、次の各号に掲げる委員によって構成する。

- (1) 各学部長
- (2) 各学科主任
- (3) 各教授会より選出された若干名の委員

2 前項第1号及び第2号の委員はその職にある期間を任期とする。

3 第1項第3号の委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

4 委員の互選により委員長を選出する。

### (会議)

第5条 委員会は、委員長が必要に応じこれを招集し、会議の議長となる。

- 2 委員の3分の1以上の要請があったとき、委員長は委員会を招集しなければならない。
- 3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名する者がこれに代わる。

### (定足数)

第6条 委員会は、3分の2の委員の出席をもって成立する。

### (意見聴取)

第7条 委員会はその職務に関係のある者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

### (議決)

第8条 委員会は、出席者の過半数により、議決する。

- 2 可否同数のときは、議長の決するところによる。

### (事務)

第9条 委員会の事務は、教育・研究支援室が行う。

(改廃)

第10条 この規程の改廃は、教授会が行う。

附 則

この規程は、平成5年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成14年10月3日に改正し、平成15年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、「駒沢女子大学自己評価委員会規程」を全面的に改正したものとして、平成16年7月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成21年2月23日に改正し、平成21年4月1日から施行する。